

# 光を北方から

令和8年度学校だより第1号  
＜発行責任者＞  
北海道旭川盲学校  
校長 篠田 佳寿  
令和8年 5月1日

## 旭盲イレブン～いざキックオフ！

校長 篠田 佳寿

新たな春を迎えました。毎年、学校は3月に一区切りとなり、4月から新しく始まります。人や場所、時間の流れが変わります。新学期は子どもたちにとって、まるで別世界に踏み込んだような感覚であるかもしれません。そんな戸惑いや期待に寄り添いながら、先生たちは丁寧に説明し、安心して過ごせるよう支えてくれます。子どもたちは「これまでとは違うんだ」「これからはこうなんだ」と自ら言い聞かせるようにして、変化を受け入れて行きます。そしてもう5月。みんな一つ上の学年になったという自覚が芽生え、自信を持ち始めた頃ではないでしょうか。

今年度は幼稚部1名、小学部8名、中学部2名の合計11名でスタートしました。「旭盲イレブン」それぞれが素敵な個性を発揮し、仲間と一緒に新しい学びに挑んでいってほしいと思います。

さて、本校はグランドデザインを作成し公表しております。お手元にありましたらご覧ください。これは、学校の目指す将来像や方針などを、関係する皆様と共有するための設計図のようなものです。

グランドデザインの上段には、令和7年度改訂の学校教育目標「自ら学び、考えを深め広げ、自らの人生を切り拓いていく子ども」があります。この学校教育目標から4つの柱（4つの「C」）を立て、「めざす子ども像」や「めざす学校像」を定めております。これらを踏まえて各学部と寄宿舎が相互に繋がりをもって教育活動を行います。特に以下の取組に力を入れたいと考えています。

もっと遊びたい、学びたい、挑戦したいと思えるように

◆分かる授業 ◆興味や関心に基づく教材 ◆自然や社会の直接体験 ◆情報機器の活用…など

互いを認め、学び合い、深め合えるように

◆全校での集团的活動 ◆近隣の幼稚園や学校との交流…など

相手の話を聞き、自分の考えをもって表現できるように

◆主体的で対話的な学習 ◆発表活動 ◆遠隔の盲学校との共同学習…など

自信と希望をもって、自分の可能性を生み出していけるように

◆小さな成功体験の積み重ね ◆自己の学習成果の確認 ◆授業の振り返り…など

そして下段の「子どもを真ん中にした連携・推進」は、まさに子どもを真ん中にして、学校、家庭、地域が周囲から支えていることをイメージした図です。始業式にて「みんなが学校の『まんなか』だよ」と話しました。実際、ご家庭とは毎日お子さんを中心とした連携を密にいただいていますし、後援会の皆様や地域町内の皆様方は、常に本校を大切に考え、子どもたちのことを想って支援してくださいます。とても心強くありがたく思っております。

子どもの成長は早く、日々それぞれの自立の階段を上っていきます。来年3月には、今のお子さんの姿と比べてたくさんのお子さんの成熟や上達を見つけていただけるものと確信しています。関係する皆様と共に、子どもたちを育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

## \*令和8年度入学式\*

今年度は、4月8日(水)に小学部2名、中学部1名の  
新入生を迎え、入学式が行われました。新入生と在校生の  
保護者の皆様や来賓の方にたくさんの拍手をいただき、と  
ても温かな雰囲気の中で行うことができました。在校生  
は、歓迎の言葉や「世界中の子どもたちが」を歌って、新  
入生を迎えました。新入生も進級した在校生も、早く新しい環境に慣れ、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。



## \*幼稚部の様子\*

今年度の幼稚部は、年中(4歳児)「こあらぐみ」として、一つお兄さんになってス  
タートした1名です。始業式では「こあらぐみを頑張ります」と目標を発表しました。  
好きなことや自分でできることを増やして、今年もいろいろなことに挑戦してい  
てほしいと思います。みその幼稚園との交流も継続し、人とのつながりも広げつつ、  
屋内外でたくさん体を動かしたり、工作・音楽・自然遊びなどを通して様々なものに  
触れたりしながら、生活に必要な習慣や身の周りの人や環境とかかわる力を育てていきたいと思  
います。



## \*小学部の様子\*

今年度の小学部は、新入生の1年生2名が入り、2年生  
1名、3年生2名、4年生1名、5年生2名の8名で新年  
度をスタートしました。新入生は新しい生活に少しずつ慣  
れ、進級生も新しい環境で元気に過ごしています。みんな  
で声を掛け合いながら、学習したり、楽しく遊んだりして  
います。新しい先生方と一歩ずつ関係性を築  
いて、心身ともに成長して行ってほしいと思  
います。笑顔があふれる楽しい1年になるよ  
うに、子どもたちを支援していきたいと思  
います。今年度も、ご理解とご協力をどうぞよろ  
しくお願い致します。



## \*中学部の様子\*

昨年度は3名が卒業し、この4月は新たに中学生1名を迎えました。中学  
部は2年生1名と新入生の計2名、今年度は3年生の卒業学年がない年と  
なりました。

新学期が始まり約3週間が経ち、学習場所や学習集団が変わり、少し緊張  
や戸惑う場面は見られますが、少しずつ慣れて学習に取り組んでいます。

各学習はもちろんのこと、運動会や宿泊研修などの行事も楽しみにしながら、  
日々の活動に励んでほしいと思います。

今年の学級目標は「前進」です。日々の積み重ねが個々の成長につながり  
ます。生徒の皆さんが様々なことに意欲的に取り組み、やりがいや達成感等  
が得られるよう、教職員全員で力を合わせて支援していきたいと思  
います。

今年度も家庭と連携をとりながら、お子様の成長を支えていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

学習等で様子を知りたい場合は、随時お子さんの活動を見ていただければと思います。よろしくお願いいたします。



## \*転入のご挨拶

令和8年4月1日付けにて本校に着任した教職員の挨拶です。

### 篠田 佳寿（しのだ よしひさ）校長

真駒内養護学校からこのたび着任しました。本校は大正11年に南雲総次郎先生のご尽力により開設され、その後も先進的な教育実践を切り拓いてきており、まずその伝統に心がひかれました。子どもたちもみんなやさしく頑張り屋さんで、さらに強く魅了されました。子どもたちも教職員もキラリと輝く学校をめざして力を尽くしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 米澤 新（よねざわ しん）教頭

北海道帯広盲学校より着任いたしました、米澤新と申します。旭川盲学校の皆様とお会いできることをとても楽しみにしてきました。これからこの地域で本校の子どもたちと一緒に歩み、学び続けることをとおして、より信頼される学校を目指していきます。保護者の皆様と教職員が共に手を取り合い、子どもたちのことを中心に考えながら、一人一人の生きる力を育てていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 荻戸 剛仁（のぞき たけひと）教諭

鷹栖養護学校から着任しました荻戸（のぞき）剛仁です。中学部所属となりました。幼児児童生徒のみなさんと様々な活動を通して、充実した学校生活を送るとともに、日々の成長を楽しみにしながら、学習や運動など一緒に取り組んでいきたいと思えます。出身は上川管内和寒町、教科は保健体育、特技はスキー（クロスカントリースキー）です。体育・保健体育等で関わることが多いと思えます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

### 橋詰郁朗（はしづめ いくろう）教諭

鷹栖養護学校から異動をしてきました橋詰と申します。5年ぶりに期限付き教員として旭川盲学校に戻ってきました。旭川盲学校は、私の兄が卒業した学校でもあり、とても長いお付き合いになります。古き良き盲学校を大切にしつつも、新しい盲学校作りを進める教職員の一人として、努力していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

### 須藤 友香（すどう ゆか）栄養教諭

東川養護学校より着任いたしました栄養教諭の須藤友香と申します。給食の献立を考えたり、食に関する指導など学校給食と寄宿舎給食の全体に関わります。美味しく安心・安全な給食が提供できるよう給食調理員さん、委託調理員さんと一緒にがんばりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 入部 裕子（いりべ ひろこ）事務職員

東川高等学校から参りました入部と申します。特別支援学校の経験はありますが盲学校は初めてとなります。わからないことがたくさんありますが、幼児児童生徒のみなさんが安心・安全に楽しく学べるような教材を整えたり環境づくりに努めてまいります。みなさんの成長を楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 坂口 涼香（さかぐち りょうか）事務職員

このたび札幌南高校から赴任しました、事務職員の坂口涼香と申します。就学奨励費や給食費などの業務をさせていただきます。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思えますが、子どもたちが安心安全に楽しく過ごすことができるように頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

- ・「学校だより」は、年4回の発行です。
- ・今後も学校の様子は学校ホームページにてお知らせしていく予定です。本校のホームページをご覧ください、ご感想やご意見をいただければと思えます。

旭川盲学校ホームページアドレス

<http://www.kyokumo.hokkaido-c.ed.jp/>

### 子ども相談支援センター

- いじめられて、こまっている
- がっこうにいきたいのに、いけない
- だれかに、きいてほしい

子ども相談支援センターでは、いじめや不登校、性的マイノリティなどに悩む子どもたちや保護者からの相談を受け付けています。

メール相談

[sodan-center@hokkaido-c.ed.jp](mailto:sodan-center@hokkaido-c.ed.jp)

電話相談

0120-3882-56